

長徳寺便り

発行

時宗
不退山長徳寺
住職
渋谷真之

本山参拝の御報告

時宗総本山遊行寺団体参拝旅行

六月二十四〜二十六日(二泊三日)に、時宗総本山遊行寺へ団体参拝旅行に行つて参りました。参加人数は約三十名。二十四日の早朝に藤沢町を出発し群馬県館林の茂林寺で昼食をとり、午後三時過ぎには本山へ到着しました。遊行七十四世他阿真上人様に約五年ぶり(平成二十年庫裡落慶・晋山式以来)に御挨拶をし、宝物館を拝観した後、宿坊へ泊まりました。二日目は



明治神宮にて記念撮影

早朝五時から本堂に於いて参加者全員で各家先祖代々の御供養をし、朝食後は境内の散策後、本山を出発。その後鎌倉で「長谷寺」「建長寺」をお参りし横浜中華街で昼食。午後からはNHKや明治神宮など東京都内を観光し上野へ宿泊。

三日目は「東京スカイツリー」「浅草」観光し帰宅しました。御参加された方々、大変お疲れ様でした。また次回数年後に本山参拝を企画し皆様とご一緒できる日を楽しみにしております。



仏教用語一処

長徳寺本堂内正面頭上に大きな額がありますが、そこに「善人俱会」と刻まれている言葉があります。元々は「諸上善人俱会一処」の一文からきており、「ともにひとところである」という意味ですが、会う場所とはもちろん「西方浄土」です。浄土三部経のひとつ「阿弥陀経」の中に出てくることばです。愛別離苦とは親愛な者と別れるつらさ悲しみ、さけて通ることの出来ない仏教という四苦八苦の一つですが、特に死別は永遠の別れのように感じる事でしょう。しかし西方浄土に生まれることが出来れば、先に分かれた人との再会が約束されているのです。唐の高僧善導大師は「先立たば送る人を待ちやせん花のうてなのなかば残して」とお詠みになっています。死に別れは一時のこと、先に西方浄土に行って蓮台の半分空けて待っていますよと残された者を励ましてくださいます。それにはまず我々が西方浄土に生まれることが肝心です。先に行かれた人との再会を夢見て精進することを怠らなければ、間違いなく愛する人達と彼の国において再会することが出来る事でしょう。

映画撮影出演者募集の御案内

ロケ地・藤沢町(長徳寺)・東山町(幽玄洞)

映画「義仲穴」 主演「中山エミリ」

昨年長徳寺境内で撮影した映画上映されました映画「一遍上人」の秋原北胤監督の次回作「義仲穴」武将木曾義仲(きそよしな)の撮影が今年の秋(十月上旬)長徳寺で撮影する事に決定致しました。撮影当日は女優の中山エミリさんを

はじめ、俳優の小倉一郎さんも駆けつけます。出演希望者は長徳寺へ御連絡下さい。お待ちしております。尚、出演料はございませんが、参加者全員映画最後のエンドロールに名前が載ります。



ひとこと

葬儀をはじめとする諸沙要、本山や他寺院との会合の為、お寺を留守にする事も多くなりました。来寺の時に留守をしていたり或いはお待たせしたりして檀家様に御迷惑をお掛けしないためにも、予めお電話にて来寺時間のお申し出をしていただきたく、ご理解の上、ご協力の程宜しくお願い致します。住職